

課題番号 : F-15-KT-0140
利用形態 : 技術相談
利用課題名(日本語) : 光学式バイオセンサの研究
Program Title (English) : Development of optical biosensor
利用者名(日本語) : 多田 啓二
Username (English) : K. Tada
所属名(日本語) : 古野電気株式会社
Affiliation (English) : Furuno Electric, Co., Ltd.

1. 概要(Summary)

感染症検査では、特に重篤化の可能性が高い高齢者や乳幼児のために、早期に診断し適切な治療をおこなう必要がある。そこで我々は現在、フォトニクスデバイスを用いた感染症早期診断デバイスの研究開発をおこなっている。センサの作製に液滴吐出描画装置の利用を検討するため、技術相談を行った。

2. 実験(Experimental)

京都大学所有の液滴吐出描画装置による描画の可否について相談した。

3. 結果と考察(Results and Discussion)

相談した結果、導電性の溶液は描画し易いが、我々の検討していた誘電性の溶液は吐出自体が難しく、再現性の担保も考慮して他の手法を検討することとなった。

4. その他・特記事項(Others)

本報告は 2015 年 7 月 14 日に、京都大学ナノハブ拠点に来所し、技術職員と打ち合わせを行なった内容に基づくものである。

5. 論文・学会発表(Publication/Presentation)

なし。

6. 関連特許(Patent)

なし。